

地域活動団体アンケート自由意見一覧

2. 門真市での活動について

【問 2】 貴団体が今後も活動を続けていくために、何が必要であるとお考えですか。ご自由にお書きください。

【人材（会員数の確保）について】（25 件）

- 会員確保の為の行政サポート
- 会の会員数（やる気の有る人） 50 人～60 人が体操出来る場所（会場不足のため入会をストップしています）特に市民プラザ地域に低額で使える会場を作って頂きたい
- 当団体の活動もっと理解してもらい活動への参加人数を増加させることが大切である。近年自然災害が多発している中災害等に備えての準備等、危機感を忘れず多くの方に啓発していく努力が必要と考えます。
- 『団体名』という名前で、バドミントン、テニス、四国愛好という活動をしてはいますが、会員の年齢層が高齢化しています。高校生、大学生を含めて青年というカテゴリーの年齢層の方々の参加が必要です。
- ボランティアの皆様のご協力 周知方法の拡大
- スタッフの高齢化にともない、今後の人材確保が最大の課題です。大量退職の時代もおわり、退職教職員だけでは今後の運営はむずかしくなります。そのため「門真が好き」「子どもが好き」という市民のボランティアや当団体で支援した若者たちの協力も考えていかなければなりません。現在、スタッフの交通費も一部自己負担でまったく無報酬です。市民等の協力をお願いするときには、それではむずかしいと思います。したがって助成金の充実・拡大をお願いしたいです。また問 1 の(5)でも書きましたが、今後もパートナーシップ事業が継続されるよう願います。
- ボランティア活動をしてくれる人が増えてほしい 行政も支援してほしい
- 人材不足
- 本会が安定的かつ持続的に活動するためには、会員の確保が絶対条件である。本会の運営は、会員からの会費による財源が主で維持している現状である。任意団体として本来のあるべき姿であるが、現状は大変厳しい状況にある。すなわち、会員数が運営維持を左右する。経済の低迷、不況が長期化する事態に陥れば、会存続に影響を及ぼすことが必至である。普通でさえ大企業社員と比較しても、中小企業従業員の退職等異動が激しい。また、会員拡大への活動強化に努めているものの、中小企業事業主が本来務めるべき従業員の健康管理、福利厚生面に対する取り組みへの認識が希薄であり、期待すべき増員が見込めない現状にある。本来これらの事案は、商工会議所が対応すべきものと思っている。大阪府内の自治体は、本会に大いに関わっているが、守口、門真市は中小企業経済による成長と、依然として多くの企業が存在する都市でありながら、この問題から一線を画していると思わざるを得ない。とりわけ、門真市の総合的な中小企業に関

する施策への取り組み（統計的に明示しているか？）が懸念される。本会は、地域経済の発展、労働雇用の促進、中小企業福利厚生面の充実に大いに貢献しており、他の任意団体（福祉、教育関係等）とは活動の性質が異なるものと考えている。

- 高齢化の進行による会員の減少により、当団体活動が縮小、衰退していくことが一番心配であり、会員の若帰りと増強を計る手段は無いのだろうかどと苦慮している。行政として、何か支援の方法は考えられないでしょうか？
- スタッフの高齢化により継続が困難、若い人材必要
- 企業・団体・行政の3つの柱で構成されていますが、参加団体・企業が増える事が必要だが、環境に関しては難しいようです。
- ①人材…委員を40代の方に移行中ですが、ひとり親のため生活を支える為働くことが第一です。活動が限られてくるので、ひとり親以外でも手助けいただける方がほしい。 ②助成金…子の成長には親子で参加できる体験が大切ですが、バス代等が値上がっていて、行き先に困っている。
- 門真市との連携やバックアップ。特にボランティア活動として取り組んでいることを消極的にとらえない。人権擁護委員としての人材確保、活動の内容に応じた負担金・補助金が必要と考えます。
- 新メンバーを増やしたい。メンバーの家庭の事情や（親の介護）体力不足、健康不安で常時参加が減っています。
- 地域の事業主からの要望に基づいた労働力確保に必要な情報の収集と提供が必要であると考えております。また、事業主の相互扶助の精神に基づく求人者団体としての組織化促進のためにも、会員事業所数の減少に歯止めをかけ、会員増強をはからなければ活動が衰退していくことにつながりかねないと思います。
- 会員の高齢化で会員数の割に実際にボランティアに出務できる数が年々減り、一部の会員で何とかやり繰りしている状態です。若い会員さんの入会も今の所見込めません。
- 会員の増員と次代を担う若者の育成・協会役員の若返り
- やる気のある人材の確保がどの団体でも必要かと思ひます。
- 資金面での安定と人材育成 各地域団体との横のつながり 数字で門真を表すという強みを発輝すること
- 最近では広報の紙面に余裕が無いとの事で掲載して頂けないのでお手上げです。現在受講されている方はリメイクをととても喜んで下さり熱心ですが少しだけ人数がプラスされることを希望します。
- 市の補助金 支援者
- 終戦から73年が経過し、近年はメディアが戦争について取り上げる機会が減っており、若い世代が戦争について学ぶ機会が少なくなっている。そのため、当団体の活動を次世代へ受け継いで

いくためには、戦没者の子孫である子ども達が活動に関わっていけるような体制づくりが必要だと考える。

- 現在推進している活動を地域住民の方にどう理解し共感の輪を広げていけるか。その発信力と更なる内容の充実を図る。 若手の地域活動の担い手を糾合できるかどうか
- 若い層・高齢者層が互いに持ち味を生かし合えると認識できること。助け合える関係 運営する組織の中に入ってもらえ共に働ける人材 当団体が存在するメリットが市民の方々に伝わるための活動の取組

【行政支援（広報・補助金等）について】（19件）

- 真夏の大会は控えている 空調設備の充実。
- 会員確保の為の行政サポート
- 会の会員数（やる気の有る人） 50人～60人が体操出来る場所（会場不足のため入会をストップしています）特に市民プラザ地域に低額で使える会場を作って頂きたい
- スタッフの高齢化にともない、今後の人材確保が最大の課題です。大量退職の時代もおわり、退職教職員だけでは今後の運営はむずかしくなります。そのため「門真が好き」「子どもが好き」という市民のボランティアや当団体が支援した若者たちの協力も考えていかなければなりません。現在、スタッフの交通費も一部自己負担でまったく無報酬です。市民等の協力をお願いするときには、それではむずかしいと思います。したがって助成金の充実・拡大をお願いしたいです。また問1の(5)でも書きましたが、今後もパートナーシップ事業が継続されるよう願います。
- ボランティア活動をしてくれる人が増えてほしい 行政も支援してほしい
- 本会が安定的かつ持続的に活動するためには、会員の確保が絶対条件である。本会の運営は、会員からの会費による財源が主で維持している現状である。任意団体として本来のあるべき姿であるが、現状は大変厳しい状況にある。すなわち、会員数が運営維持を左右する。経済の低迷、不況が長期化する事態に陥れば、会存続に影響を及ぼすことが必至である。普通でさえ大企業社員と比較しても、中小企業従業員の退職等異動が激しい。また、会員拡大への活動強化に努めているものの、中小企業事業主が本来務めるべき従業員の健康管理、福利厚生面に対する取り組みへの認識が希薄であり、期待すべき増員が見込めない現状にある。本来これらの事案は、商工会議所が対応すべきものと思っている。 大阪府内の自治体は、本会に大いに関わっているが、守口、門真市は中小企業経済による成長と、依然として多くの企業が存在する都市でありながら、この問題から一線を画していると思わざるを得ない。とりわけ、門真市の総合的な中小企業に関する施策への取り組み（統計的に明示しているか？）が懸念される。本会は、地域経済の発展、労働雇用の促進、中小企業福利厚生面の充実に大いに貢献しており、他の任意団体（福祉、教育関係等）とは活動の性質が異なるものと考えている。

- 高齢化の進行による会員の減少により、当団体活動が縮小、衰退していくことが一番心配であり、会員の若帰りと増強を計る手段は無いのだろうかと苦慮している。行政として、何か支援の方法は考えられないでしょうか？
- ①人材…委員を40代の方に移行中ですが、ひとり親のため生活を支える為働くことが第一です。活動が限られてくるので、ひとり親以外でも手助けいただける方がほしい。 ②助成金…子の成長には親子で参加できる体験が大切ですが、バス代等が値上がっていて、行き先に困っている。
- 門真市との連携やバックアップ。特にボランティア活動として取り組んでいることを消極的にとらえない。人権擁護委員としての人材確保、活動の内容に応じた負担金・補助金が必要と考えます。
- 施設等の予約システムの弾力的な運用（2系統システムの融合） 広域的な団体であり、仕方のない点も理解できるが、活動のフィールド内として市内所在団体と近い形で各種登録できるようになれば活動の幅もさらに広げられる可能性がある。
- 公的な事業活動場所の提供と地域共生社会づくりの「我が事、丸ごと」の地域づくりの「支え手側」として参画できる市からの委託事業が必要と考えています。
- 会員の増員と次代を担う若者の育成・協会役員の若返り
- 最近広報の紙面に余裕が無いとの事で掲載して頂けないのでお手上げです。現在受講されている方はリメイクをととても喜んで下さり熱心ですが少しでも人数がプラスされることを希望します。
- 市の補助金 支援者
- 門真市民及び門真市役所職員が当団体の活動目的、組織の成立ち、存続の意義を理解いただく事。それには広報の充実が必要と考えます。
- 施設自体あまり知られていないので認知活動が必要 地域の方々との関わりをより深めていく事（特にお年寄り） 運営費が削減されない事 一時保育や育児支援など住民のニーズに合った取り組み
- 門真市よりバックアップ
- スポーツを楽しむこと自体も目的の一つではあるが、地域支援コミュニティの拠点として、子どもから高齢者、障がい者の有無に関わらず、全ての住民が集い、まちづくり・地域づくりを《総合的に》模索する場として、行政支援・学校支援・企業支援・地域支援が必要ではあるが、一番は地域住民の自主的・主体的な運営参加があつてこそ、住みよい豊かな社会ができるのではないかと思う。

【住民への活動内容の周知・理解について】（17件）

- 地域住民に親しまれ、信頼される組織となるような地域に密着した充実した活動
- 門真市民の芸術への関心度の向上またそのサポート

- 当団体の活動もっと理解してもらい活動への参加人数を増加させることが大切である。近年自然災害が多発している中災害等に備えての準備等、危機感を忘れず多くの方に啓発していく努力が必要と考えます。
- ボランティアの皆様のご協力 周知方法の拡大
- 地域との交流で障がい者を理解していただきたい。
- 安価な料金でりっぱな施設を利用させていただき大変ありがたいと思っています。ただロコミで近所の主婦だけのサークルになっていますが、もっと多くの方々が利用しないともったいないといつも思っています。門真市の広報だけでは行き届かないような気がします。
- 社旗福祉の制度やサービスについて、その内容や情報を住民に的確に提供できるよう支援すること
- 最近では広報の紙面に余裕が無いとの事で掲載して頂けないのでお手上げです。現在受講されている方はリメイクをととても喜んで下さり熱心ですが少しだけ人数がプラスされることを希望します。
- 地域福祉を推進する体制の充実 地域社会のニーズとそれに応える体制を考慮し、事業を選択推進し、運営条件を整備すること お互いさまの気持ちで助け合う地域のつながりができるまちづくり
- 門真市民及び門真市役所職員が当団体の活動目的、組織の成立ち、存続の意義を理解いただく事。それには広報の充実が必要と考えます。
- 施設自体あまり知られていないので認知活動が必要 地域の方々との関わりをより深めていく事（特にお年寄り） 運営費が削減されない事 一時保育や育児支援など住民のニーズに合った取り組み
- 門真市民への普及活動（ソフトバレーボール教室、市内自治会へのPR、市内企業への体験プログラム作成及び企業レクリエーション提案）
- スポーツを楽しむこと自体も目的の一つではあるが、地域支援コミュニティの拠点として、子どもから高齢者、障がい者の有無に関わらず、全ての住民が集い、まちづくり・地域づくりを《総合的に》模索する場として、行政支援・学校支援・企業支援・地域支援が必要ではあるが、一番は地域住民の自主的・主体的な運営参加があつてこそ、住みよい豊かな社会ができるのではないかと思う。
- 終戦から73年が経過し、近年はメディアが戦争について取り上げる機会が減っており、若い世代が戦争について学ぶ機会が少なくなっている。そのため、当団体の活動を次世代へ受け継いでいくためには、戦没者の子孫である子ども達が活動に関わっていけるような体制づくりが必要だと考える。

- 市民に障がい児の理解を広げることと思います。特に発達障がいのお子さんは健常児と見られ、体の過敏さがあつたり、生きるための困難さがあります。しかし、健常児にはない特技、優れた能力があることを多くの市民に理解を広げることと考えています。子育て支援の輪をもっと広げていくことと思います。乳幼児の子育て中の親 障がいのあるお子さんを持つ親の孤立をどうなくしていくか市民の輪を広げつなげていくことと思います。
- 現在推進している活動を地域住民の方にどう理解し共感の輪を広げていけるか。その発信力と更なる内容の充実を図る。 若手の地域活動の担い手を糾合できるかどうか
- 若い層・高齢者層が互いに持ち味を生かし合えると認識できること。助け合える関係 運営する組織の中に入ってもらえ共に働ける人材 当団体が存在するメリットが市民の方々に伝わるための活動の取組

【他団体等との連携について】(5件)

- 他業種との信頼関係の構築 時代の流れを先取りし、意見と活動が形にできる場所に参画 活動の実績づくり
- 少子・高齢・人口減少社会の進行に『年齢に関係なく活躍できる社会』の実現は大きな課題です。高齢者がいくつになっても、生きがい就業で社会参加するためには、市民・市役所が、問題を理解し、協同して解決する必要があります。
- 多様な分野での地域活動団体との連携を深めていくこと 常に新しい視点で活動を提案、実施していくこと・・・でしょうか。
- 情報の共有の量とスピードの速さ コミュニケーション力、伝える力、相手を理解する力など
- 資金面での安定と人材育成 各地域団体との横のつながり 数字で門真を表すという強みを発輝すること

【情報収集、ニーズ把握について】(3件)

- 地域の事業主からの要望に基づいた労働力確保に必要な情報の収集と提供が必要であると考えております。また、事業主の相互扶助の精神に基づく求人者団体としての組織化促進のためにも、会員事業所数の減少に歯止めをかけ、会員増強をはからなければ活動が衰退していくことにつながりかねないと思います。
- 地域福祉を推進する体制の充実 地域社会のニーズとそれに応える体制を考慮し、事業を選択推進し、運営条件を整備すること お互いさまの気持ちで助け合う地域のつながりができるまちづくり
- 施設自体あまり知られていないので認知活動が必要 地域の方々との関わりをより深めていく事 (特にお年寄り) 運営費が削減されない事 一時保育や育児支援など住民のニーズに合った取り組み

【活動の場の確保について】(3件)

- 真夏の大会は控えている 空調設備の充実。
- 会の会員数（やる気の有る人） 50人～60人が体操出来る場所（会場不足のため入会をストップしています）特に市民プラザ地域に低額で使える会場を作って頂きたい
- イベント・各種慰問するにあたりレッスンする為の場所が欲しい 多目的室プラザは取れない。体育館は申し込み時疑問。

【その他】(7件)

- 平和な社会（戦争はダメ）であること。
- 本会が安定的かつ持続的に活動するためには、会員の確保が絶対条件である。本会の運営は、会員からの会費による財源が主で維持している現状である。任意団体として本来のあるべき姿であるが、現状は大変厳しい状況にある。すなわち、会員数が運営維持を左右する。経済の低迷、不況が長期化する事態に陥れば、会存続に影響を及ぼすことが必至である。普通でさえ大企業社員と比較しても、中小企業従業員の退職等異動が激しい。また、会員拡大への活動強化に努めているものの、中小企業事業主が本来務めるべき従業員の健康管理、福利厚生面に対する取り組みへの認識が希薄であり、期待すべき増員が見込めない現状にある。本来これらの事案は、商工会議所が対応すべきものと思っている。大阪府内の自治体は、本会に大いに関わっているが、守口、門真市は中小企業経済による成長と、依然として多くの企業が存在する都市でありながら、この問題から一線を画していると思わざるを得ない。とりわけ、門真市の総合的な中小企業に関する施策への取り組み（統計的に明示しているか？）が懸念される。本会は、地域経済の発展、労働雇用の促進、中小企業福利厚生面の充実に大いに貢献しており、他の任意団体（福祉、教育関係等）とは活動の性質が異なるものと考えている。
- 当法人は、平成30年度をもって解散しますが、市の事業として持続可能なものとしていく為には、市のトップダウンではなく市民からのボトムアップにしていかなければならないと思う。
- 中国との友好関係の拡大
- 65才以上のメンバーの体調です。ムリなくおしゃべりしながら日頃の生活 お互いに悩みなどきいてはげみにしています
- 情報の共有の量とスピードの速さ コミュニケーション力、伝える力、相手を理解する力など
- 資金面での安定と人材育成 各地域団体との横のつながり 数字で門真を表すという強みを発輝すること

【問3】 門真市における地域活動が今後、より充実していくためには、何が必要であるとお考えですか。ご自由にお書きください。

【住民や他団体等との連携（ネットワークの構築）について】（19件）

- 各組織団体の単独の地域活動には限界があると思われしますので、各組織団体の連携を活発に行い、コラボレーションした『ふるさと門真まつり』など大きな地域活動を創造し、実施していくことが充実した地域活動になると考えます。
- 関係機関との連携
- ネットワークや顔の見える関係作り
- 関係行政機関、施設、団体等と日常的に連携をとり、良好な関係を築き、情報交換できることは共有していく
- 各団体との協力と共存 時代の流れを先取りし、依存する活動ではなく独立、中立な立場で活動する事
- それぞれに個別に実施している活動が、ほかの地域に広がってないように思います。個別に実施することも大切ですが、共有課題を、協同して取り組む体制が構築出来たら良いと思います。常に問題意識を持ち、マンネリ化しないためにもリーダーの世代交代が必要で、新しいメンバーが参加し活性化できる組織体制が必要です。
- 啓発活動は小中で実施していますが、幼稚園・保育園・高等学校との場がありません。早期の啓発や社会的な課題に対応する活動を考えると市教委との関係がないところが難しいと感じます。
- 当局と団体間でのネットワークがもっと密にできないかと思います。行政では対応しにくい横断的な運営を補完できないかと思います。
- 門真市内の学校および父兄、生徒等に対する職業知識の啓もうと労働力の確保のための協力関係の樹立が必要であると考えます。
- 縦割り行政施策から地域活動なども「子育て、教育、障がい福祉、高齢福祉、災害時対策なども縦割りになりつながりのある地域活動が身近な暮らしの中ではありません。そんなところで地域の希薄さがどんどん進んでいくことに大きな不安を感じています。縦割りを横につないでいく活動に重点的に進めていくことが必要と考えています。

■ 当団体は競技スポーツを主とした団体でありますのでその観点からお答えいたします。

門真市内のスポーツ振興に寄与している団体は、門真市体育協会・スポーツ少年団・地域スポーツクラブ門真はすねクラブ・市子連・他の団体がありますが、このような地域スポーツ活動に協力している団体に加盟しているクラブ、サークル（このクラブ、サークルは上部団体に加盟している）があるなか、このような団体には加盟せず、一切地域活動には参加しないクラブ・サークルがあります。このような上部団体には加盟せず門真市の施設を使って活動しているクラブ・サークルが大変多くなっています。

*なぜ上部団体に加盟せずに活動しているのか。

加盟するには役員を選任しなければならない。加盟料金が発生する。地域活動に協力しなければならない。加盟してもメリットが無い。

*現在市の施設の利用規定では、上部団体に加盟してもしなくても何ら支障なく、同様に利用できる体制になっています。わずらわしい上部団体に加盟しなくても活動できる体制と、身勝手な体質のクラブ・サークルが増えているのです。

当団体の弱体化は認めますが、門真市のスポーツ振興の骨格である団体の存在感と必要性を行政に認めていただきたいものです。漠然としたクラブやサークルが増えても真の地域活動は定着しないと考えます。

■ 若者が活動できる風土づくり 活動者達の情報共有 教育の向上 企業と行政と地域の連携

■ 官民連携を前提とした大きなプラットフォーム作り 外部よりまちづくりを「実践」している団体とのコラボレーション（※学識経験者や大学ではこれからの充実を考えると弱い） 「情報」をよりよく伝える為のプラットフォーム作り

■ 市と社協との連携 各団体の認知と活動の場

■ 地域住民や地域の関係者の組織づくり及びネットワークづくり 市民団体の自主性を活かした公共的事業のアウトソーシングや市民による先駆的事业への財政的支援

■ 小さな単位での住民どうしの結びつきが出来る様な取り組み（障がい者、1人暮らしのお年寄り、1人で子育てしていて子どもだけの時間が多い家庭等助け合う） 貧困問題への対策（特に既存の施設を利用した子どもの居場所づくり）

■ 市内体育館の設備充実 自治会での参加体験 プログラムPR 各地域指導者育成 市外団体とのコミュニケーション

■ 市民の連携

■ 自治会組織、各種団体との連系、協力体制、きめ細やかなネットワークづくりで効率と無駄の削減 相乗効果を発揮する

【行政支援（広報・補助金等）について】（15件）

■ 同上（門真市民の芸術への関心度の向上またそのサポート） プラス行政の協力（積極的に広報するとか見学してアドバイスする等）

■ 行政による事務局の設置

■ 市長が交代してから、活発な市民活動と魅力発信という面から充実していると思います。拠点という意味から総合体育館、ルミエールホールの駐車場が狭いので、駐車スペースの充実化、無償化（補助等でも）

■ 問2と同じ

本会が安定的かつ持続的に活動するためには、会員の確保が絶対条件である。本会の運営は、会員からの会費による財源が主で維持している現状である。任意団体として本来のあるべき姿であるが、現状は大変厳しい状況にある。すなわち、会員数が運営維持を左右する。経済の低迷、不況が長期化する事態に陥れば、会存続に影響を及ぼすことが必至である。普通でさえ大企業社員と比較しても、中小企業従業員の退職等異動が激しい。また、会員拡大への活動強化に努めているものの、中小企業事業主が本来務めるべき従業員の健康管理、福利厚生面に対する取り組みへの認識が希薄であり、期待すべき増員が見込めない現状にある。本来これらの事案は、商工会議所が対応すべきものと思っている。大阪府内の自治体は、本会に大いに関わっているが、守口、門真市は中小企業経済による成長と、依然として多くの企業が存在する都市でありながら、この問題から一線を画していると思わざるを得ない。とりわけ、門真市の総合的な中小企業に関する施策への取り組み（統計的に明示しているか？）が懸念される。本会は、地域経済の発展、労働雇用の促進、中小企業福利厚生面の充実が大いに貢献しており、他の任意団体（福祉、教育関係等）とは活動の性質が異なるものと考えている。

■ 会費で実施するのも限度がある。行政からの支援（予算）が必要

■ 啓発活動は小中で実施していますが、幼稚園・保育園・高等学校との場がありません。早期の啓発や社会的な課題に対応する活動を考えると市教委との関係がないところが難しいと感じます。

■ 財政的、人事的な側面（背景）を考えると、「公民協働」について、職員の意識共有が必要である（加えて、政策立案能力を身につける必要もある）。

■ 縦割り行政施策から地域活動なども、子育て、教育、障がい福祉、高齢福祉、災害時対策なども縦割りになりつながらのある地域活動が身近な暮らしの中ではありません。そんなところで地域の希薄さがどんどん進んでいくことに大きな不安を感じています。縦割りを横につないでいく活動に重点的に進めていくことが必要と考えています。

■ 当団体は競技スポーツを主とした団体でありますのでその観点からお答えいたします。

門真市内のスポーツ振興に寄与している団体は、門真市体育協会・スポーツ少年団・地域スポーツクラブ門真はすねクラブ・市子連・他の団体がありますが、このような地域スポーツ活動に協力している団体に加盟しているクラブ、サークル（このクラブ、サークルは上部団体に加盟している）があるなか、このような団体には加盟せず、一切地域活動には参加しないクラブ・サークルがあります。このような上部団体には加盟せず門真市の施設を使って活動しているクラブ・サークルが大変多くなっています。

*なぜ上部団体に加盟せずに活動しているのか。

加盟するには役員を選任しなければならない。加盟料金が発生する。地域活動に協力しなければならない。加盟してもメリットが無い。

* 現在市の施設の利用規定では、上部団体に加盟してもしなくても何ら支障なく、同様に利用できる体制になっています。わずらわしい上部団体に加盟しなくても活動できる体制と、身勝手な体質のクラブ・サークルが増えているのです。

- 当団体の弱体化は認めますが、門真市のスポーツ振興の骨格である団体の存在感と必要性を行政に認めていただきたいものです。漠然としたクラブやサークルが増えても真の地域活動は定着しないと考えます。
- 地域住民や地域の関係者の組織づくり及びネットワークづくり 市民団体の自主性を活かした公共的事業のアウトソーシングや市民による先駆的事業への財政的支援
- 門真市民及び市職員のサポートが必要
- 小さな単位での住民どうしの結びつきが出来る様な取り組み（障がい者、1人暮らしのお年寄り、1人で子育てしていて子どもだけの時間が多い家庭等助け合う） 貧困問題への対策（特に既存の施設を利用した子どもの居場所づくり）
- 市内体育館の設備充実 自治会での参加体験 プログラムPR 各地域指導者育成 市外団体とのコミュニケーション
- 「いつでも・誰とでも・どこでも」スポーツをすることができる環境をめざす総合型地域スポーツクラブにとって年代も志向も技術レベルもまちまちな参加者に対して、それぞれに適した形で指導できる指導者の育成。クラブにとって活動場所の確保は重要である。自分たちのクラブハウスがあるかないか。自治体や学校の体育施設などの優先使用。スタッフの人件費などの資金面もクラブ運営の重荷となっている。受益者負担が原則とはいえ、共通経費については、会費や参加費でまかないきれない部分が多いため、自然と助成金やボランティアに頼る部分も多くなってくる。現状のクラブ運営は、「志」ある人が、時間的にも資金的にも身を削りながら行っているのが現実である。そうした問題を解決するためには地域の体育施設などの指定管理事業が活動資金確保の現実解の一つであると思う。
- 地域の団体、私どものようなNPOへもっときちんと情報を流してほしい。そして市の職員が何団体かの担当についていっしょに考えて進めてほしいです。

【住民への活動内容の周知・理解について】（13件）

- 同上（門真市民の芸術への関心度の向上またそのサポート） プラス行政の協力（積極的に広報するとか見学してアドバイスする等）
- 問2と同様（当団体の活動もっと理解してもらい活動への参加人数を増加させることが大切である。近年自然災害が多発している中災害等に備えての準備等、危機感を忘れず多くの方に啓発していく努力が必要と考えます。）
- 広く市民に様々な地域活動が行われていることを知ってもらえるような、積極的な広報が必要かなと思います。・・・（今もされていますが）

- 広報活動と出来れば専門の指導者がおられたらうれしく思います。
- 各種活動を紹介することで、市民の方々の理解、援助をいただきたいと思う。
- 市内でのイベントがあっても知らない人が多く残念に思うことが多い。広報活動が必要ではないか
- 門真市内の学校および父兄、生徒等に対する職業知識の啓もうと労働力の確保のための協力関係の樹立が必要であると考えます。
- 若者が活動できる風土づくり 活動者達の情報共有 教育の向上 企業と行政と地域の連携
- デザインが古かったり、サイズが合わなくなった洋服等捨てる前に当団体へ。物を大切にすること、リメイクに依って生きかえった喜びを体験して頂きたいです これが当団体の仕事です…と
思っております
- 市と社協との連携 各団体の認知と活動の場
- 門真市民及び市職員のサポートが必要
- 市内体育館の設備充実 自治会での参加体験 プログラム PR 各地域指導者育成 市外団体とのコミュニケーション
- 若い層・高齢者層が互いに持ち味を生かし合えると認識できること。助け合える関係 運営する組織の中に入れてもらえ共に働ける人材 地域会議が存在するメリットが市民の方々に伝わるための活動の取組

【人材（会員数）等の確保について】（10件）

- 問2と同様（日赤（奉仕団）の活動もっと理解してもらい活動への参加人数を増加させることが大切である。近年自然災害が多発している中災害等に備えての準備等、危機感を忘れず多くの方に啓発していく努力が必要と考えます。）
- 門真市が良くなるように ボランティアをする人が増えてほしいです
- 広報活動と出来れば専門の指導者がおられたらうれしく思います。
- 問2と同じ

本会が安定的かつ持続的に活動するためには、会員の確保が絶対条件である。本会の運営は、会員からの会費による財源が主で維持している現状である。任意団体として本来のあるべき姿であるが、現状は大変厳しい状況にある。すなわち、会員数が運営維持を左右する。経済の低迷、不況が長期化する事態に陥れば、会存続に影響を及ぼすことが必至である。普通でさえ大企業社員と比較しても、中小企業従業員の退職等異動が激しい。また、会員拡大への活動強化に努めているものの、中小企業事業主が本来務めるべき従業員の健康管理、福利厚生面に対する取り組みへの認識が希薄であり、期待すべき増員が見込めない現状にある。本来これらの事案は、商工会議所が対応すべきものと思っている。大阪府内の自治体は、本会に大いに関わっているが、守口、門真市は中小企業経済による成長と、依然として多くの企業が存在する都市でありながら、この問題から一線を画していると思わざるを得ない。とりわけ、門真市の総合的な中小企業に関

する施策への取り組み（統計的に明示しているか？）が懸念される。本会は、地域経済の発展、労働雇用の促進、中小企業福利厚生面の充実に大いに貢献しており、他の任意団体（福祉、教育関係等）とは活動の性質が異なるものと考えている。

- それぞれに個別に実施している活動が、ほかの地域に広がってないように思います。個別に実施することも大切ですが、共有課題を、協同して取り組む体制が構築出来たら良いと思います。常に問題意識を持ち、マンネリ化しないためにもリーダーの世代交代が必要で、新しいメンバーが参加し活性化できる組織体制が必要です。
- 当団体は高齢者が多くなり、活発に活動することが難しくなっている。今後は若い人が入会しなければ維持、継続できなくなる。入会者のメリットを考えるとどうしても財源の問題が浮上する。
- 問2と同じ（スタッフの高齢化により継続が困難、若い人材必要） ボランティア活動して頂ける人材が何より必要
- 市内体育館の設備充実 自治会での参加体験 プログラムPR 各地域指導者育成 市外団体とのコミュニケーション
- 「いつでも・誰とでも・どこでも」スポーツをすることができる環境をめざす総合型地域スポーツクラブにとって年代も志向も技術レベルもまちまちな参加者に対して、それぞれに適した形で指導できる指導者の育成。クラブにとって活動場所の確保は重要である。自分たちのクラブハウスがあるかないか。自治体や学校の体育施設などの優先使用。スタッフの人件費などの資金面もクラブ運営の重荷となっている。受益者負担が原則とはいえ、共通経費については、会費や参加費でまかないきれない部分が多いため、自然と助成金やボランティアに頼る部分も多くなってくる。現状のクラブ運営は、「志」ある人が、時間的にも資金的にも身を削りながら行っているのが現実である。そうした問題を解決するためには地域の体育施設などの指定管理事業が活動資金確保の現実解の一つであると思う。
- 若い層・高齢者層が互いに持ち味を生かし合えると認識できること。助け合える関係 運営する組織の中に入ってもらえ共に働ける人材 地域会議が存在するメリットが市民の方々に伝わるための活動の取組

【新たな活動（取組み）について】（5件）

- 門真市のさまざまな就労のニーズに答えられるとりくみをする。（例にもものづくり企業の新人職員の定着支援）
- 当局と団体間でのネットワークがもっと密にできないかと思います。行政では対応しにくい横断的な運営を補完できないかと思います。
- すでにここ数年でひじょうに充実してきていると思います。あえていうと、若い人が中心になった専門性の高いソーシャルビジネスが成長できる環境と、交流の場があればいいと思います。「ソーシャルサービスビレッジ」のような街区があるとか。

- 官民連携を前提とした大きなプラットフォーム作り 外部よりまちづくりを「実践」している団体とのコラボレーション（※学識経験者や大学ではこれからの充実を考えると弱い） 「情報」をよりよく伝える為のプラットフォーム作り
- 小さな単位での住民どうしの結びつきが出来る様な取り組み（障がい者、1人暮らしのお年寄り、1人で子育てしていて子どもだけの時間が多い家庭等助け合う） 貧困問題への対策（特に既存の施設を利用した子どもの居場所づくり）

【活動の場の確保について】（3件）

- 立派な体育館でなくともよい 気軽に集える広い会場が必要です 他市に比べてボランティアに対する取り組み方はどうか門真市として考え方を教えて頂きたい
- 市と社協との連携 各団体の認知と活動の場
- 「いつでも・誰とでも・どこでも」スポーツをすることができる環境をめざす総合型地域スポーツクラブにとって年代も志向も技術レベルもまちまちな参加者に対して、それぞれに適した形で指導できる指導者の育成。クラブにとって活動場所の確保は重要である。自分たちのクラブハウスがあるかないか。自治体や学校の体育施設などの優先使用。スタッフの人件費などの資金面もクラブ運営の重荷となっている。受益者負担が原則とはいえ、共通経費については、会費や参加費でまかないきれない部分が多いため、自然と助成金やボランティアに頼る部分も多くなっていく。現状のクラブ運営は、「志」ある人が、時間的にも資金的にも身を削りながら行っているのが現実である。そうした問題を解決するためには地域の体育施設などの指定管理事業が活動資金確保の現実解の一つであると思う。

【その他】（9件）

- 立派な体育館でなくともよい 気軽に集える広い会場が必要です 他市に比べてボランティアに対する取り組み方はどうか門真市として考え方を教えて頂きたい
- 問2と同じ

本会が安定的かつ持続的に活動するためには、会員の確保が絶対条件である。本会の運営は、会員からの会費による財源が主で維持している現状である。任意団体として本来のあるべき姿であるが、現状は大変厳しい状況にある。すなわち、会員数が運営維持を左右する。経済の低迷、不況が長期化する事態に陥れば、会存続に影響を及ぼすことが必至である。普通でさえ大企業社員と比較しても、中小企業従業員の退職等異動が激しい。また、会員拡大への活動強化に努めているものの、中小企業事業主が本来務めるべき従業員の健康管理、福利厚生面に対する取り組みへの認識が希薄であり、期待すべき増員が見込めない現状にある。本来これらの事案は、商工会議所が対応すべきものと思っている。大阪府内の自治体は、本会に大いに関わっているが、守口、門真市は中小企業経済による成長と、依然として多くの企業が存在する都市でありながら、この問題から一線を画していると思わざるを得ない。とりわけ、門真市の総合的な中小企業に関する施策への取り組み（統計的に明示しているか？）が懸念される。本会は、地域経済の発展、

労働雇用の促進、中小企業福利厚生面の充実に大いに貢献しており、他の任意団体（福祉、教育関係等）とは活動の性質が異なるものと考えている。

- 各団体との協力と共存 時代の流れを先取りし、依存する活動ではなく独立、中立な立場で活動する事
- 財政的、人事的な側面（背景）を考えると、「公民協働」について、職員の意識共有が必要である（加えて、政策立案能力を身につける必要もある）。
- 世界の地方都市、門真に成る為に海外交流の促進
- 文化意識の向上が必要だと思っています。図書館ボランティアの立場で申しますと、ここ10年位で文化意識は向上している様に思いますが、意識の有る方と無い方の格差がより広がっている様に思います。図書館でのボランティア活動を通して強く感じます。集中して聞ける子供、興味を持っている子供と興味のない子又は集中出来ない子供の差を以前より強く感じます。
- 当団体は競技スポーツを主とした団体でありますのでその観点からお答えいたします。
門真市内のスポーツ振興に寄与している団体は、門真市体育協会・スポーツ少年団・地域スポーツクラブ門真はすねクラブ・市子連・他の団体がありますが、このような地域スポーツ活動に協力している団体に加盟しているクラブ、サークル（このクラブ、サークルは上部団体に加盟している）があるなか、このような団体には加盟せず、一切地域活動には参加しないクラブ・サークルがあります。このような上部団体には加盟せず門真市の施設を使って活動しているクラブ・サークルが大変多くなっています。
*なぜ上部団体に加盟せずに活動しているのか。
加盟するには役員を選任しなければならない。加盟料金が発生する。地域活動に協力しなければならない。加盟してもメリットが無い。
*現在市の施設の利用規定では、上部団体に加盟してもしなくても何ら支障なく、同様に利用できる体制になっています。わずらわしい上部団体に加盟しなくても活動できる体制と、身勝手な体質のクラブ・サークルが増えているのです。
当団体の弱体化は認めますが、門真市のスポーツ振興の骨格である団体の存在感と必要性を行政に認めていただきたいものです。漠然としたクラブやサークルが増えても真の地域活動は定着しないと考えます。

- 皆の声かけでしょうか。近所の人の子がわかると思います
- 若者が活動できる風土づくり 活動者達の情報共有 教育の向上 企業と行政と地域の連携

3. 「地域のための活動の実施」について

【問7】 貴団体において社会貢献として何か取り組むことができる、あるいは、取り組みたいことはありますか。ある場合は、その理由も含めてお書きください。

【現状の活動が社会貢献になっていると考えている】 (21 件)

- 施設などでのボランティア演奏を既に長く続けている
- 我が会では歌体操教室は社会貢献だと考えている 高齢者が喜々として集い現在の体調をにぎやかに報告される方が多い 又友人を誘う方が多い 主催者として一番の喜びである
- 門真っ子の活動が、私たちの現職時代の経験を生かすことで、社会貢献のほんの一端を果たしているのではないかと考えています。
- 家族の介護の経済的負担軽減を目的として無償で福祉車両の貸し出しや急に車イスで通院が必要になった時などに対応し無償で送迎活動を行っています。
- 私たちのメンバーは5人中3名が民生委員です いつも話題は各部会8老人、障害等で問題点を話す機会にもなりとても有意義なことと思っています。取り組みの中で解決できる問題もあります。一人一人が幸せになれることが社会貢献の一つと考えています。名前は出していませんので、守秘義務に問題ありません（私は民生委員ではありません）
- 引きつづき、住民の求める生活支援活動を行い支援体制をつくる
- 問2と同じ（大阪府内の自治体は、本会に大いに関わっているが、守口、門真市は中小企業経済による成長と、依然として多くの企業が存在する都市でありながら、この問題から一線を画していると思わざるを得ない。とりわけ、門真市の総合的な中小企業に関する施策への取り組み（統計的に明示しているか？）が懸念される。本会は、地域経済の発展、労働雇用の促進、中小企業福利厚生面の充実に大いに貢献しており、他の任意団体（福祉、教育関係等）とは活動の性質が異なるものと考えている。）
- 目標作り・健康であること・死ぬまで自力で歩くこと・医療費の削減について微力ながら、活動の中で伝え続けていき、同感いただき、汗を流してくれる仲間を増やす事が一番の社会貢献であると信じています。
- 定年退職後、生きがい就労を求めてセンターに入会された当センターの会員皆さんは、現役世代の約半分程度の就業です。この会員の皆さんに、自治会やNPO 団体など地域を支えるボランティアに積極的に参加していただきたいと思います。現役の就労から、地域ボランティアへの橋渡し、『地域デビューの窓口』的な機能を果たしたいと考えております。
- 現存、当団体が取り組んでいる活動は、高齢者福祉活動であると思っているのもっと多くの人と一緒に楽しみながら活動できれば良いと思う。
- ひとり親が誇りをもって生活できる社会の活動に参加する。国をはじめ行政にひとり親の思いを伝える。全国母子寡婦福祉協議会、大阪府母子寡婦福祉連合会の活動を伝えることで、ひとり親の生活レベルの向上を図る。

- 地域通貨「蓮」の払い戻しにおいて残金がゼロになる様に、事業を遂行していく（情報弱者の為の「草の根活動」）
- 地域中小企業の経済発展
- 当団体では、20年ほど前から門真の昔話（21話）を手話紙芝居やペープサートなどにして時々子供達には紹介していますが、時代を知っている大人の方にも聞いて下さる機会が有ればと思っています。又大人の方にも一般的な昔話や紙芝居を聞いて頂き和やかな時間を過ぎて下さればと思っています。
- 地域の学校に対する「新規学校卒業者求人説明会」への参加促進により、地元の学生を地元の事業所への就職斡旋できるので職場への定着をはかるうえでもメリットがあると考えます。
- 当団体は青年会の育成に始まりスポーツ講習会、傘下の連盟による各種の競技大会の開催、生涯スポーツの普及発展に今後もしっかりと取り組んでいきます。我々はスポーツを愛し楽しむため、自発的に活動し、常に友愛と信義の下に市民意識の向上と健康の維持増進に努め、地域社会に根差したスポーツの普及とアマチュアスポーツ精神の高揚を図ってまいります。
- 「誇り」を持てるような「まちづくり」門真市は「門真が好き」という市民の方が多いと感じています。その反面、住環境としてはネガティブなイメージを持たれがちな面もあります。「この街に住んで良かった」「この街に住みたい」という事を目標に取り組んでいきます。
- 平成29年度から満3歳以上から団員に迎入れが出来るようになり、幼児及び青少年の健全育成として社会貢献が出来るので、市の行事に参画出来る案内を望む。
- 生涯スポーツとしてのソフトバレーボール普及推進し、市民の健康増進に取り組むたいと考えます。市民が健康であり笑顔あふれるコミュニティが作ればよいと思います。
- 発表の場があれば随時参加します。市民の方々に認知してもらいたい
- 今後も引き続き、追悼式への参列等をおこない、遺族の福祉の増進と、恒久平和の確立を図っていききたい。

【今後取り組みたいことがある】（16件）

- 問2で回答したように「地域住民に親しまれ、信頼される組織となる」ためにも社会貢献活動として、以下のような活動に取り組むたい。①市民が集う『ふるさと門真まつり』への参画・参加②行政の市民に対する公益的な活動にも参画し、タイアップして取り組むたい。・・・『生産緑地制度改正の説明会』等③これからの社会を担っていく「こども」たちを守る『こども食堂協議会』などの地域貢献活動にも積極的に協力していききたい。
- 2019年ラグビーワールドカップ 日本開催の支援 4年に1度ではなく一生に一度と考えるから。
- 入院中の子ども達への訪問 高齢者との交流範囲を拡大 その理由 笑顔を増やしたい
- NPO連絡会などへの積極的参加。

- 子供達へのリサイクル工作などをもっと実施したいが予算と人材に難しい。
- 若年者を対象としたマネープランセミナー・カードローンによる「破産者が増加しており予防としての啓発力が必要と感じている 高齢者への対応は退職準備セミナーで実施しており若者を対象とした実施を計画中である
- 老人の人口が増え、老人ホーム、デイサービスが多く要望があれば慰問等で活動していきたい。
- 現在月2回のおもちゃライブラリーを市民プラザ3階多目的室で障がいのある人の遊び場を提供しています。しかし常設ではないため、利用者が少ないです。障がいのある人がいつでも子育ての悩みや医療のこと 学習のこと 福祉サービスのこと、進路のこと 就職のこと 暮らしのことなど当事者団体にしかできないことがあり、誰でも立ち寄り、遊んだり相談したりできる常設のサロンに行政から補助金が得ることができたら取り組みたいです。理由は困っている人がどこに行ったら分からず困っていると聞くからです。
- 現在取り組んでいる「宿題カフェ」という小学生の学習支援事業を市全域で実施したい。ソーシャルサービスのクラスターを構築したい。
- 地域活動や社会貢献活動とはあくまで手段であり、問題を解決することやより良い街にすることが目的である。なので取り組みたい事よりもあるべき状態やなりたい理想を作ることや共有、ひいては街の誇りや幸せのカタチを作ることに取り組むたい
- 人口移動が激しく中小企業も多い自治体で経済的困窮や社会的孤立に陥りやすい市民が多く、制度の狭間をうめる支援を今後も実施していきたいと考えます。また成年後見の利用促進につながる取り組みを検討していきたいと考えます。
- 市や自治会等の子育てに関する取り組みに対する協力 夜、日曜等日常保育していない時の園の利用 お年寄りの方々との交流
- 平成29年3月には国の第2期スポーツ基本計画が策定され、その中で「スポーツを通じた健康増進」という項目をあげられ、具体的には「高齢者が楽しく継続的に取り組むことができる生活習慣病の予防・改善や介護予防を通じて健康寿命の延伸に効果的な「スポーツプログラム」を策定し、普及することがうたわれており、今後も健康づくり、生活習慣病予防・改善、介護予防といった側面をレクリエーションスポーツが大きな役割をはたすことになり、普段の役割をレクリエーション協会が担っていくと明記されているので、門真市でも「市町村・スポーツ団体と連携し、誰もが気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション教室、イベント等を開催」「市民が運動しやすい環境を整備するため、身近なコミュニティにおける気軽なスポーツ実践の場を拡充」に向け、門真市レクリエーション協会設立に向け進んでいきたいと思っています。
- 障がい児、特に発達障がい、LD、ADHD、知的の理解を広げたい。そして安心して生活でき学校生活をおくり、将来門真の人材、社会のリーダーにしていく活動に取り組むたいです。
- 地区（我が町）の防災計画の推進（自主防災を含め） 地域の防災会議と防災力の向上 健康長寿社会を目指して高齢者の居場所づくり、生きがいつくり

- 三中校区に住んでいてよかったなと思えるまちづくりを目指しています。固定的な活動だけでなく、地域の人々の求めや課題解決に向けての社会貢献を絶えず考えています。

【特になし】(2件)

- 現状人数が少なく活動量が多いのでこれ以上は今はむりです
- 楽しむをモットーとしているだけで幸せを感じます。これ以上取り組みとくに考えていません。

【問 8】 地域のための活動について意見等がございましたら、ご自由にお書きください。

【行政支援（情報提供・広報、補助金等）について】（14件）

- 安全で暮らしやすい、夢のある門真市を造っていくためにも、地域の組織団体の地域貢献活動は重要であると考えますので、地域活動の情報連絡を行政より一つでも多く発信してもらいたい。
- 幼少期から芸術に触れる事は情操面のみならず学力面でも効果があるので（実証済み）幼稚園、小学校などでのボランティア演奏をあっせんしてほしい（こちらから押し売りはできないので）
- 若年層への地域貢献の大切さ教育。伝承活動。学校の授業で、薫蓋樟やバッテリー、茨田堤など、地域の誇りとなる名所・旧跡を歩き、清掃活動などで文化を守る事の大切さを教え、次世代にも門真の素晴らしさを伝えていてもらいたい。
- 門真市は、地域でいろいろ活発に活動され素晴らしいと思いますが、その発信や、新しいメンバーが加わるなどの改善、成長が不十分な気がします。 地域を育むリーダーの発掘、育成に努め、どんどん世代交代出来るようにする必要があります。
- 孤立しがちなひとり親家庭に活動を紹介しています。広報”KADOMA”には大いに協力をいただいています。
- エコパークてどこということが良くありもっとPRをしてほしいと思います。
- 地域で活動している他のグループとの交流があまり有りません。 地域活動のグループが一覧できる「ロコミ誌」があれば…（ネットでは有るかも） 皆さんが活動される施設等に気軽に手に取れるものがあれば、交流したりイベントでコラボしたり出来ると思います。
- 行政や社協の取り組みで福祉活動もあるようですが、ほとんど高齢者対象です。障がい者が参加できる活動を地域活動で取り組んで下さい。障がいのある人の困りごとを理解してほしいです。
- 行政に対しては、手動で取り組むのではなく「テーマ」を出して枠組みを決めて民間や公益団体と一緒に「企画」の段階から一緒に進めてほしい。 成果主義のススメ、やる事が目的となっている活動が多く、計画段階から目標を決めて結果はどうなのか？という検証をする事 年々積み重ねる風土づくり
- 今後の地域活動の向上にかかせない部分として2つ記します。行政は「実施主義」から「成果主義」にアプローチを変えられないか。その手法は民間が得意ですのでどんどんコラボレーションを行う。民間は行政のルールを良く理解して営利活動と非営利活動の違いを伝えていき、より地域活動へ参加してもらうこと。この2つは一番先に取り組みたい
- 地域共生社会の実現のための地域生活ケアシステムの構築に係る日常生活圏域の検討と市が推進している地域会議との関係がどのようになるのか、また、行政のどこの課が担っていくのか
- 宮本市長の子ども政策に期待しています。 当団体の指導者の活動はボランティアであり少ない市からの補助金と各種の協賛で賄っていますが、財政状況は苦しい状況が続いています。未来を築く青少年の健全育成にご理解とご協賛をお願い申し上げます。
- 門真市内の各種団体の相互協力を希みます。（スポーツ、文化系に関わらず）

- 個人団体の持つ強みをどんどん引き出して活動できる行政になってほしいです。市の職員がどんどん地域へ入ってその人材をみつけて広げてほしいです。

【人材について】(4件)

- 門真市は、地域でいろいろ活発に活動され素晴らしいと思いますが、その発信や、新しいメンバーが加わるなどの改善、成長が不十分な気がします。地域を育むリーダーの発掘、育成に努め、どんどん世代交代出来るようにする必要があります。
- 当団体は、障がい者に対する感心と理解ある人は障がい者でなくても入会できるので地域の自治会等でも知って頂き、「共に生きる社会」の実現のためにも一人でも多く当団体の活動に参加していただきたい。
- 高齢化社会、もっといきいきサロンの活動をしたいと思うが、ボランティアの協力が必要です。思いはいっぱいあるが、体がついてこない！年には勝てない！！
- 1. 地域（市民）のニーズを汲んだ活動でなければ続かない。 2. 市民の育成（民主主義を前提として）。

【新たな活動（取組み）について】(3件)

- 生活困難（就労困難）等でひきこもりにある人々へのアプローチ。楽しい集いや相談に対応するなどを行いたい。
- 最近のリサイクル店が増えています。年2回くらいの作品発表会時に家庭に不用品があれば持ち寄って見学者に無料で持ち帰ってもらったら見学者も増えるのではないかと思います。
- 古川の清掃活動を他団体が実施していると聞きました。当連絡会も何らかのかたちで参加検討中。

【その他】(14件)

- なかなか行動に移せないところがある。行動に移せるよう団員の意識改革と実行を伴った活動を行いたい。
- 自由に活動できるよう温かく見守って頂きたいです
- 1. 地域（市民）のニーズを汲んだ活動でなければ続かない。 2. 市民の育成（民主主義を前提として）。
- 地域経済発展に係る有効かつ適切な施策の計画立案と実行
- 問3に答えた上部団体は行政に協力し地域活動に積極的に取り組んでいます。今後もこの体制は変わることがないと思います。行政は公平の名のもと上部団体加盟クラブも加盟していないクラブも平等としています。ですから加盟していないクラブ・サークルにも平等に地域活動に参画していただきたいものです。
- 災害支援の一助にと寄付活動をしています。私を含め当団体は高齢化していますので、実働での災害ボランティアは無理なので、せめて寄付を考えています。

- 特にないです 趣味サークルがこのまま皆仲良く続けられる事を望むのみです
- 行政に対しては、手動で取り組むのではなく「テーマ」を出して枠組みを決めて民間や公益団体と一緒に「企画」の段階から一緒に進めてほしい。成果主義のススメ、やる事が目的となっている活動が多く、計画段階から目標を決めて結果はどうなのか？という検証をする事 年々積み重ねる風土づくり
- 今後の地域活動の向上にかかせない部分として2つ記します。行政は「実施主義」から「成果主義」にアプローチを変えられないか。その手法は民間が得意ですのでどんどんコラボレーションを行う。民間は行政のルールを良く理解して営利活動と非営利活動の違いを伝えていき、より地域活動へ参加してもらうこと。この2つは一番先に取り組みたい
- 今回のアンケートは社協ボランティア団体には配布しましたか？
- 出来る限り、門真の子どもたちの事であれば役に立ちたいと考えていますので、気軽に声をかけて頂けたらと思います。
- 常に仲良く取り組んでいきたい
- 当団体は発足して3年有半です。現在進めている諸活動を充実させながらさらに住民の皆様のニーズにどう応えていけるか 余り背伸びせずに着実に進めていきたい。
- 役立つ事 人と人との心をつなぐこと。多様化する中で皆さんのニーズに答えられ、参加意識のある活動をつくることは、一朝一夕にはいきません。組織してくださる方の高齢化は1年1年進んでいきます。「まちづくりをしよう」と考えるエネルギーの継続が大切ですが、心配でもあります。